

新宮山彦ぐるーぷ第2168回

浦向道の巡視整備

◇実施日 3月13日(日)

晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、豊嶋寛、濱野兼吉、畑分清子、西

克、高階鈴子・美根子、内野井慎搾、梶野照雄、志岐敬、

今中三恵子

12名



役場駐車場で

登山口に到着

雨水槽を戻す

毎年の春季南奥駆道点検巡視は、一月下旬か二月上旬に浦向道からスタートしていたが、今年には白谷トンネルの通行止めに加えて21世紀の森前の国道にも始めてバリケードが設置された。その上、行仙宿に向かう四ノ川林道の手前でも橋梁工事が行われ、池郷林道崩落個所の復旧工事が一年以上続いたままで、行仙宿、持経宿への

アクセスが遮断された状態が続いていた。数年間少なかった積雪も多く、我々の行動が制限されてしまった。

3月4日にR425の冬季通行止めが解除され、橋梁工事現場の通行にも目途が立ったので、やっと本格巡視がスタートした。

13日午前9時、下北山村役場駐車場に12名が集結。沖崎より本日の予定を説明した後、森林組合倉庫横の浦向道登山口に移動した。



マキを補充

浦向道に行く

ブローワー活躍中

登山口に梶野、今中、西の3車をデポし、沖崎車、豊嶋車の2台で行仙宿登山口に向かった。途中の橋梁工事は日曜日で休んでいた。全員の荷物をモノレールで終点まで運び、再び登山口に戻りモノレールにカバーを掛けて歩きます。今日は全員が浦向道を歩くのでモノレールを降ろしておかなければならない。

10時半を前後して行仙宿に全員到着、浦向道に向かうまでに、冬の間水が溜まらないようにしていた雨水槽3ヶ所を元に戻す作

業とマキ置き場の整備だけを行い、11時過ぎから早めの昼食を摂った。

11時45分、浦向道に向けて出発。児嶋さんは、先日青木君から贈られたエンジンブローワーを持ち、浦向までの全ルートをきれいにする、と先行していった。2〜3分後に出発すると、補給路に積もっていた落葉はきれいに無くなっていった。

各々が鎌やハサミを持ち、登山道に飛び出した小枝を切りながら川島橋を通過し林道に降りてきた。ここ迄は、先日数本の倒木を処理したのでこれと言った作業は無かった。



本日の参加者

倒木を切除

沢で休憩

ここ数年は大きな台風も無かったので、この先にも何も無いだろうと15分ほど下った所で斜めに道を塞いでいる倒木が現れた。梶野君がチェーンソーで処理した。以後にチェーンソーの出番は無く、今日はチェーンソーが必要だったのはこの一ヶ所だけだった。倒壊した作業小屋のある沢まで降りてしばらく休憩する。その後は

植林の中を黙々と歩いて、予定通り午後3時に登山口に到着した。デポしていた西さんの車に沖崎、内野井が同乗して、行仙宿登山口にある沖崎車と豊嶋車を取りに行った。



登山口近くのミツバオウレン

下山

車を待つ

今回久しぶりに参加された大阪の今中さんは、昨年日本山岳会に加入されたそうだ。今日はゴミ袋を手には、小さなビニールなどのゴミを拾いながら歩いておられた。何ができるかを考えて、ゴミ回収をテーマにして参加された。教えられるところがある。

(記：沖崎)

行動タイム

08:45 下北山村役場駐車場→09:20 補給路登山口→10:30 行仙宿
11:46→12:05 モノレール終点→12:23 川島橋→13:13 林道→113:54 廃屋小屋→15:00 浦向登山口

